

神ギ協

神奈川ギター協会

〒244-0801

横浜市戸塚区品濃町511-3

カサハラビル品濃町301

西本ギター教室内

Tel 045-825-8815

2023/8/4発行（編集責任者 飯田敏史）

第51回神奈川新人ギタリストオーディション

2023年7月2日（日）神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」神奈川ギター協会主催

写真とレポート:神奈川ギター協会名誉会員: 川俣 明



（入賞者と入選者、ゲスト審査員：大萩康司氏）

講評

2023年7月2日（日）神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」で、第51回神奈川新人ギタリストオーディションを開催した。今回の応募者数は昨年度と同じく次点者1名を含む29名の応募者で過去実績から考えると、まだまだ少な目であった。所謂「神奈川しぼり」が無くなっている事、コロナも解決との通念の中で、更なる応募者数の増加が望まれる。

本選ゲスト審査員には大萩康司氏を迎えた。世界で活躍する実力と人気のギタリストの登場とあって応募者にとっても聴衆にとっても大きな期待感があったと思われる。

12時30分に開始された予選では課題曲M.ジュリアーニ作曲の「アレグロ・ヴィヴァーチェ(版自由)」と各自が前もって登録した3分以内の自由曲の演奏で審査された。

予選課題曲は親しみやすい曲ではあるが、曲の冒頭でミスをしてしまった者が多かったようだ。致命的ミスが無く演奏できた者で自由曲の演奏で高得点を得た者が本選に選出されたと言えよう。集計の結果5名が予選を通過し、昨年の次点者一名を加えての計6名が本選へと進んだ。尚、2名が繰り返しの規定を守らず失格となってしまった。コロナ社会の影響もあるのか参加者全体、本選に進んだ者、そして入賞者もベテラン組が大勢を占めていて若い世代が少なかった。ベテラン組の健闘と努力を讃えると共に若い世代の次回への奮起を期待したい。

本選では課題曲のA.ムデーラ作曲の「ルドビコのハープを模したファンタジア(版自由)」と各自が前もって登録した6分以上10分以内の自由曲を演奏した。本選の採点は従来どおり80点を合格の目安とし、上下10点ずつの幅を持たせて採点し、平均点を出して判定する方法を採った。審査員で協議の結果3名が、入賞合格となった。4番目の得点者を次点入選者と決定した。表彰式では大萩氏より入賞者の方々に大変有益なアドバイスを頂いた。

「本選に進めなかった人」で「年齢が50歳以上」の成績上位者に「特別賞」を授与した。今回の受賞者は山本孔彦(やまもとよしひこ)であった。



山本孔彦さん

以下に本選の演奏順に結果と評を記す。

1.近藤 勲(こんどう いさお) <入賞・合格>

予選自由曲:前奏曲 ホ長調 (M.M.ポンセ)

本選自由曲:BWV998より「フーガ」「アレグロ」(J.S.バッハ)

全体に美しい音色でギターをよく響かせている。テンポ感も良く曲全体をしっかりと奏しきる力量のある奏者だ。課題曲では音の粒立ちをもう少し揃えたいと思った。自由曲も手堅く演奏できてはいたが中音部や低音部の音色を際立たせて、それぞれの声部が完結するまで明確に歌いきると完成度が更に上がると思う。

2.川島陽介(かわしま ようすけ) <入選>

予選自由曲:「ラファガ」(J.トゥリーナ)

本選自由曲:スペイン風セレナータ (J.マラッツ)、セビーリヤ(I.アルベニス)

各曲とも良く練習が積まれ軽やかに演奏が進んだが、小さなビリ付きが散見されて感動的な演奏には結びつかなかった。課題曲は巧妙にこなしてはいたが、更にはルネッサンスの雰囲気に近い感じに近づけたかった。自由曲では、艶やかな音色や、魅力ある大胆な歌い回しや表現が今一つ欲しいと思った。

3.蔵本浩史(くらもと こうし) <入選・次点>

予選自由曲:前奏曲 ホ長調 (M.M.ポンセ)

本選自由曲:椿姫の主題による幻想曲(J.アルカス)

落ち着いた雰囲気での演奏が始まったが、演奏順の聞こえ方の影響もあるのかもしれないが音色が細かい感じに聞こえ、明確な感じではなかった。課題曲の細かなミスが惜しい。調弦に苦労していた。5フレットと7フレットのハーモニクスでは理論上音は合わないのを改めたい。自由曲は各変奏をしっかりと弾き分けてはいたが、名人芸を聞かせるこの曲の表現には、もう一歩届かなかったように思えた。

4.伊藤陽夏(いとう はるか)＜入選＞

予選自由曲:スペインの城より「レダーバ」(F.モレノ=トロバ)

本選自由曲:椿姫の主題による幻想曲(J.アルカス)

課題曲は意図的にかなり自由度をもって演奏された。その意図は理解できるが思わぬ不調だったのか音の抜け落ちが少し目立ってしまい、落ち着いた感じの演奏にはならなかった。自由曲は間合いの取り方も巧く、トレモロも美しかったが、終曲のスケールなど不安定さを感じさせるところもあって高得点につながらなかった。艶やかな音色、良い感性と技術を持っているので、次回に期待したい。

5.渡邊健児(わたなべ けんじ)＜入賞・合格＞

予選自由曲:昨年度次席により予選免除

本選自由曲:ベネズエラワルツ第1、第3番(A.ラウロ)、前奏曲第5番(H.ヴィラ=ロボス)

十分な音量と明快な音色を持っている。正面から演奏に取り組む姿勢が表に現れている。課題曲はカポタストを2フレットに付けての演奏で、音色が華やかになり曲全体としてまとまりが良かった。自由曲のラウロでは遅めのテンポながら雰囲気も良く、音楽性豊かにまとめていた。ヴィラ=ロボスも艶やかな音色で演奏されていたが低音絃で歌われる部分のテンポ設定にはもう一工夫が欲しいと思う。上昇するスケールの部分などは更に完成度を上げておきたい。

6.柏木丈夫(かしわぎ たけお)＜入賞・合格＞

予選自由曲:ファンタジー(S.L.ヴァイス)

本選自由曲:BWV1009より「ブーレ」「ジーク」(J.S.バッハ)

美しく繊細な音色を持ち、堅実な演奏を心がけている事が良く伝わってくる。時にはその堅実な志向が裏目に伝わって「自由度が無い」とか「元気が無い」とかの評を受ける時もあるかもしれないが「堅実」ということは個性の一つとして貴重なものだと思う。課題曲は平板さも感じさせたが手堅い演奏。それだけに中間部で少し躓いたのは痛かった。自由曲でも堅実で整った演奏が続いた。ブーレでAに再現した時のホッと一安心の雰囲気が微笑ましかった。ジークはテンポも良く端正さも感じられて好演だったが後半少し乱れた箇所があったのは惜しかった。今後はこの堅実さにプラスして、どう劇的要素を加えていくかが課題になると思われる。

本選審査集計表

	演奏者氏名	西本	大萩	石田	川俣	井上	多治川	飯田	酒井	志田	高久	堀井	平均点	合否
1	近藤 勲	81	77	82	76	81	80	76	81	82	89	82	80.64	○
2	川島 洋介	80	78	76	75	78	79	73	76	79	84	77	77.73	
3	蔵本 浩史	79	79	83	74	79	77	82	78	78	82	78	79.00	次点
4	伊藤 陽夏	75	76	77	73		76	75	75	76	80	76	75.90	
5	渡邊 健児	84	83	81	78	82	78	83	80	80		79	80.80	○
6	柏木 丈夫	78	85	80	82	80	81	74	79	81	83	80	80.27	○

*空欄は師弟関係により審査対象外

入賞者インタビュー

(インタビュアー：酒井良祥)

【渡邊 健児さん】

・使用楽器

SAKURAI マエストロ

・今日の感想

まさか首席で入賞できると思ってませんでした。発表の時に盾が3つあったので『あ～、ダメかなあ～』と思っていたんですが、なんとか入れて本当に嬉しかったです。5回目でやっと入賞できました。

・自由曲の選曲について

南米の曲で固めたいなあというのがあって。今まではずっと古典だったのでちょっと雰囲気を変えたいなあと思って1年かけて練習しました。

・これからの目標

神奈川ギター協会のフェスティバルやリサイタルがあるので、まぐれじゃないところを見せてあげられたらなあと思っています。



【近藤 勲さん】

・使用楽器

クライナーバツハ (小川政博)

・今日の感想

強いて言えば、ちょっと悔しいです。渡邊健児さんは友達なのですが、いつも勝っているのに今日は負けてしまいました。でも入賞できてホッとしています。

・自由曲の選曲について

最近のコンクールではいつも弾いている曲で、他に選択肢がないくらい自分のレパートリーになっている曲です。今回は時間の関係でプレリュードは演奏しませんでした。

・これからの目標

もうちょっとメジャーなコンクールで入賞できるように頑張りたい。これからもあちこち挑戦していきたいと思っています。



【柏木 丈夫さん】

・使用楽器

Dieter Hopf (1972) ドイツ

・今日の感想

ちょっとボロボロでした。目が急に手元が二重に見えて
きちゃったので片目をつぶって演奏していました。

・自由曲の選曲について

バッハが好きなので、バッハの曲がレパートリーに多いです。
この楽器の特性が出せる曲を選んでみました。

・これからの目標

コンクールは自分を縛るのにちょうど良くて、このような目標が
ないと野放図になってしまうので。もうちょっと腕を磨きたいと
ころがあるのでこれからもコンクールにはエントリーしていきたい
と思っています。



●イベント報告

・総会

2023年2月19日（日）神奈川ギター協会の総会がかながわ労働プラザ第11会議室にて開かれました。



2022年度神奈川ギター協会総会

・神奈川ギターフェスティバル2023

2022年4月2日（日）神奈川ギターフェスティバル2023が横浜関内ホール小ホールで開催されました。今年も神奈川のギター愛好家や協会会員の演奏、前年のオーディション合格者のお披露目演奏がありました。ピアノ伴奏でのギターコンチェルトの演奏もあり、バラエティに富んだ内容で大いに盛り上がりました。

●イベント告知

昨年度神奈川新人ギタリストオーディション合格者による“デビューリサイタル”が開催されます。ご来場お待ちしております。

出演者：小林愛美、赤井香琳、神谷光昭、藤崎哲郎（伴奏：杉本麻理子 Pf）

会場：旭区民文化センター サンハート音楽ホール

日時：2023年9月17日（日） 15:00開演（14:30開場）

料金：入場無料

●委員会から

・2024年第52回神奈川新人ギタリストオーディション課題曲が決定しました。

予選…タンゴNo.3（J.フェレル）

本選…プレリュード1.2.3.4.5より任意の1曲（H.ヴィラ＝ロボス）

●お月見会（暑気払い）について

毎年恒例の暑気払いは開催を遅らせ、「お月見会」として10月1日（日）17時より行います。出席希望の方は委員長または副委員長までご連絡ください。

●協会のホームページについて

URL：<http://kanagawaguitar.net/index.html>

コンサート案内をリアルタイムで紹介していますのでご覧ください。

ホームページへのコンサート案内掲載は、酒井良祥委員に電子メールでお知らせください。尚、掲載は会員の関係するコンサートに限ります。

【編集後記】オーディション表彰式でゲストの大萩さんの講評が心に残りました。内容はチューニングに関するお話で、「時間を取って合わせるべきだと思ったのに焦って次の演奏を始めてしまい、終演後にディアンズ先生から、チューニングを合わせる時間をとってよかったんだよ、とコメントをもらった」というもの。出場者に「合っていない」とストレートに伝えるのが簡単ですが、ご自身の「後悔」として伝える語り口にお人柄が感じられました。